

チーム えがお



《学校教育目標》『自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成』
☆「かしく」自ら学ぶ子 ☆「やさしく」心豊かな子 ☆「たくましく」やりぬく子

発行者:校長 岡田 達也

～ 園が お かが や き 園んばる 学校 園うえんだん 「チーム北川」～

「地域のか」で 楽しい学び&豊かな体験活動!

【2年生 さつまいもの苗植え】



19日(木)、2年生は、1校時から公民館や老人クラブなど、地域のみなさんと一緒にさつまいもの苗を植えました。2年生が安全に苗を植えることができるように、畑の周りの草刈り、そして畑の土を耕したり等間隔に畦をつくったりしていただきました。

子どもたちは、まず苗の植え方を教えていただいたあと、老人クラブのみなさんと一緒に苗を植えました。それから、苗1本1本にしっかりと水をやりました。元気に育って、秋にはたく

さんのさつまいもを収穫することができるように!

【5年生 苗作り見学】

5年生は、地域の方の作業場を訪問し、田植えに向けた苗作りを見学しました。籾まきを見るのが初めての子どももたくさんいました。地域の方から苗作りの工程について説明を受け、実際の様子を見学しました。大きな機械を通すことで、土入れ、籾まき、肥料や水やり、そしてまた土入れといった工程が1分もかからない間に自動で完了しました。出来上がりもとてもきれいで、子どもたちもびっくりしていました。



このように、子どもたちが体験や見学を通して楽しく意欲的に学習できるのも、地域のみなさんのおかげです。子どもたちのために様々な支援や貴重な体験ができる場づくりをして下さっている地域のみなさんに感謝申し上げます。

低学年から



「栽培活動」を通して「観察する力」を育てています!

生活科や理科では、いろいろな栽培活動があります。栽培活動は、一つの対象に長期間関わる活動です。例えば、2年生では生活科で野菜を育てる、3年生では青虫がチョウになるまで飼育する、という活動です。

子どもたちは、この活動を通して生き物が成長する様子、様々な環境要因によって変化する様子に直接触れ、動植物を観察する(見つめる)視点を養うとともに、生命の尊さを実感していきます。その中で、科学的な見方や考え方が育っていきます。中学年からの理科学習では、「観察・実験」はとても重要です。子どもたちが目的をしっかりとって観察・実験し、その結果を表やグラフなどに整理して考察することで、ますます科学的な見方や考え方が育っていきます。

今年から、高学年の理科学習には「理科アシスタント」の先生を配置していただきました。本校では金曜日に勤務していただき、担任と連携しながら子どもたちの実験や観察の支援に当たっています。

